

Ⅰ 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A

- a 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。
- b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されています。
- c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。
- d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B

- a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。
- b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C

次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。

- a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。
- b 脱字。
- c 文末の句点の脱落。
- d ※字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。
- e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。たとえば「…とはどうか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

※ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

- a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。
- b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。
- c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたもの。
- d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

問一 ロ [5点]

問二 ニ [4点]

問三 人生の物語が人生の内に含まれると、人生と物語は単純に表象するものと表象されるものに区別できず、表象するもの自体が表象されるものになるから。(69字) [9点]

A 人生の物語が人生の内に含まれると、(2点)

B 人生と物語は単純に表象するものと表象されるものに区別できず、(4点)

C 表象するもの自体が表象されるものになるから。(3点)

※A・B・Cそれぞれに得点を与える。

問四 「真理性」||語られることが真だということ(14字)

「客観性」||語られることにたいする語り手の評価が適切だということ(26字)

[4点×2]

問五 ニ [5点]

問六 ノンフィクションは出来事の内容だけでなく、情動や価値判断においても真でなければならぬが、フィクションはその点においても真である必要はなく、制限がないということ。(80字) [9点]

◆「ノンフィクションは……、フィクションは……。」の形になっていないものは、全体得点を与えない。

A ノンフィクションは出来事の内容だけでなく、(1点)

B 情動や価値判断においても真でなければならぬが、(3点)

※「真」を「客観性」と言い換えたものはB自体0点。「現実性」は可。

※「情動」か「価値判断」のどちらか欠いているものは減点1。両方を欠いているものは、B自体0点。

C フィクションはその点においても真である必要はなく、(3点)

D 制限がないということ。(2点)

※Cが成立していない場合は、Dは無得点。

問七 ハ・ホ [5点×2]

大問二 問一

基準 配点.. 2点×4

■模範解答 ※解答例通り(漢字書き取り問題)

- 1 転機
- 2 堅実
- 3 果敢
- 4 固執

大問二 問二

■形式上の不備

- ・文末表現…要素B参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素B不可
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 6点

■模範解答

A

経験の内実に至ることのできない、

B

技術面だけにとられた反復。 (30字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…三十字以内 十四字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 経験の内実に至ることのできない…3点

- ・筆者が望ましいと考える「反復」(＝経験の内実の確認ができる反復)ではないということを説明していないものは、要素A加点数なし

■要素B 技術面だけにとられた反復…3点

- ・「テクニカル」の意味を説明していないものは、要素B加点数なし

大問二 問三

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(記号選択問題)

□

大問二 問四

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(記号選択問題)

八

大問二 問五

■形式上の不備

- ・文末表現…要素C参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可
- ・句点の扱い…1点減点

**基準** 配点… 6点

■模範解答

A

ある状況に対して、

B

新たな経験の仕方を見出すために、

C

それまでの経験の再組織化されるのを待つということ。(50字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…二十五字以内 十二字以下のものは全体不可(0点)

■要素A ある状況に対して、…2点

- ・「待つ」ことをする、「その場」を説明していないものは、要素A加点数なし

■要素B 新たな経験の仕方を見出すために…2点

- ・「待つ」こと理由を説明していないものは、要素B加点数なし

■要素C それまでの経験の再組織化されるのを待つということ…2点

- ・「待つ」を言い換えて、そこで「得られること」の説明をしていないものは、要素C加点数なし

大問二 問六

基準 配点.. 6点

■模範解答 ※解答通り(記号選択問題)

□



大問二 問七

■形式上の不備

- ・文末表現…要素D参照／理由説明の結び「くから」になっている場合は、要素C不可
- ・句点の扱い…1点減点

基準 配点… 12点

■模範解答

A 色彩やデッサンのさまざまな表現手段を自分で確かめるために巨匠たちの研究をしたが、

B その際、できる限りその手法に同化し、

C 熟考したことを自分の制作に生かし、

D そこから完全に独自の仕方を見出すという修業。(97字)

■採点方法…各要素単独採点

■字数…百字以内 四十九字以下のものは全体不可(0点)

■要素A 色彩やデッサンのさまざまな表現手段を自分で確かめるために巨匠たちの研究をしたが…3点

・「さまざまな表現手段を知るために、巨匠の研究をした」ということを説明していないものは、要素A加点数なし

■要素B その際、できる限りその手法に同化し…3点

・要素Aに対し、いったんは「同化する」ということを説明していないものは、要素B加点数なし

■要素C 熟考したことを自分の制作に生かし…3点

・要素Bに対し、「熟考した上で制作に生かす」ということを説明していないものは、要素C加点数なし

■要素D そこから完全に独自の仕方を見出すという修業…3点

・「独自の仕方」について説明していないものは、要素D加点数なし

★2021年度 最終 全国有名国公私大模試

三 (古文『古本説話集』) 採点基準 ※50点

問一(一) 甲 「僧都」の読み方を、ひらがな・現代仮名遣いで記せ。 【2点】

「正解」 そうず

「ポイント」

【2点】 ※「そうず」以外は×。「そうづ」も×。

問一(二)丙 「来」の読み方を、ひらがな・現代仮名遣いで記せ。

【2点】

「正解」  
く

「ポイント」

【2点】 ※「く」以外は×。

問一 (三) 傍線部乙「山」の意味するものを一つ選び、記号で答えよ。

【2点】

「正解」ニ

「ポイント」

【2点】 ※「ニ」以外は×。

問二 ① 二重傍線部①の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 ロ

〔ポイント〕

【2点】 ※「ロ」以外は×。

問二 ② 二重傍線部②の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 ハ

〔ポイント〕

【2点】 ※「ハ」以外は×。

問二 ③ 二重傍線部③の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 イ

〔ポイント〕

【2点】 ※「イ」以外は×。



問二 ④ 二重傍線部④の助動詞の文法上の意味として最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕 ホ

〔ポイント〕

【2点】 ※「ホ」以外は×。

問三 ㉔ 傍線部㉔の意味を記せ。 【3点】

〔傍線部〕 行ひ

〔解答例〕 勤行

〔字数〕 字数制限なし。

〔ポイント〕

【3点】 ※「仏道修行」でもよい。

※「お勤め・修行・仏教的行い」等は 【2点】。

問三 ㉞ 傍線部㉞の意味を記せ。 【3点】

〔傍線部〕 やがて

〔解答例〕 すぐに

〔字数〕 字数制限なし。

〔ポイント〕

【3点】 ※「すぐ・直ちに・さっそく・即刻・すみやかに・急いで・間もなく」や、「そのまま」でもよい。

※「早く・速く」は【1点】。

※「その内に・しばらくして」等は×。

問三 ◎ 傍線部◎の意味を記せ。

【3点】

〔傍線部〕 食はばや

〔解答例〕 食べたい

〔字数〕 字数制限なし。

〔ポイント〕

【3点】 ※「喰いたい・食いたい・食したい」「でもよい」。

問四 本文には「おどろきて、」が抜けている。入るべき箇所を本文中の〈イ〉〈ホ〉の中から一つ選び、記号で答えよ。 【3点】

「正解」 ホ

「ポイント」

【3点】 ※「ホ」以外は×。

問五 A 傍線部Aを現代語訳せよ。ただし、「さる」の内容が分かるように訳すこと。

【5点】

〔傍線部〕

A2

いかでかB3

さるやうは

(A)

あらん

〔解答例〕

A2

どうしてB3

夢を見ないままにしていることが

(A)

あろうか、いや、ないだろう

〔採点方法〕

各要素単独採点。

〔字数〕

指定なし。

〔ポイント〕

A【2点】

いかでか

く

あらん

↓

どうして

く

あろうか、

いや、

ないだろう

※「どうして・なぜ」の訳があれば【1点】。

※右の【1点】が得点できていて、反語になっていれば【2点】。

※反語は「いや、くない」がなくても、「どうしてくことがあろうか・なぜくはるかがあるか」等、反語と分かる表現であればよい。

「どうしてくだろう・どうしてくだろうか」は疑問と考え、反語とは認めない。

※「どうして・なぜ」がなく、解答全体が否定文（反語の結論）になっている場合は【1点】。

〔例〕 夢を見ないままにしていることは**はない**。

B【3点】

さるやうは

↓

夢を見ないままにしていることが

※「夢を見ないことは」の意があればよい。

※「お告げの」のような「夢」の内容に関する説明の有無は不問。

※「さる」の内容が誤っている場合や、説明されていない「そのようなことは」等は×。

問五 B 傍線部Bを現代語訳せよ。 【5点】

〔傍線部〕

A | ことなく B | 参り果て C | たる D | を

〔解答例〕

A | 無事に B | 参詣し終え C | た D | ことを

〔採点方法〕

各要素単独採点。

〔字数〕

指定なし。

〔ポイント〕

A 【1点】 ことなく ↓ 無事に

※ 「何事もなく・支障なく」等でもよい。

B 【2点】 参り果て ↓ 参詣し終え

※ 「参詣し（参拝し・参籠し・お参り）」があれば【1点】。

「寺社参詣」の意が明らかでない「参り」は【0点】。

※ 右の意（「参り」も含む）がある上で「し終える・し終わる・しきる」の意があれば、**プラス【1点】**。

〔例〕 参拝し終え = 【2点】 参り終え = 【1点】

C 【1点】 たるを ↓ たことを

※ Bが0点の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で0点になっている場合は得点できる。

※ 完了「たる」の訳「た」があれば、【1点】。

D 【1点】 たるを ↓ たことを

※ Bが0点の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で0点になっている場合は得点できる。

※ 「を」につながる「し」ことを「し」等を「し」等があれば、【1点】。

問五 C 傍線部Cを現代語訳せよ。 【5点】

〔傍線部〕 **A1** かく年ごろ **B2** 参りありきつるに、 **C2** いとほし

〔解答例〕 **A1** このように長年 **B2** 参詣しつづけていたのに、 **C2** 気の毒だ。

〔採点方法〕 各要素単独採点。 〔字数〕 指定なし。

〔ポイント〕

**A【1点】** かく年ごろ ↓ このように長年

※「このように」は「こう」等でもよく、「三千日の間」という内容を言ってもよい。

※「長年」は「数年来・数年」などでもよい。

※「かく」の訳と「年ごろ」の訳の両方ができていて **【1点】**。

**B【2点】** 参りありきつるに、 ↓ 参詣しつづけていたのに、

※「参詣し」＋「し続ける」＋完了「つた」＋「に」で、 **【2点】**。

※「参詣し」は、「参拝し・参籠し・お参り」でもよい。これがない場合は **Bは【0点】**。

「寺社参詣」の意が明らかでない「参り」は **X**。

※「し続ける」は、継続や回数が多いことを示す表現であれば「して回る・しまくる・して過す」等でもよい。

※完了の訳「つた」は、「つてしまった」でもよい。

※「に」は、逆接でない「のは・ことが」等でもよしとする。

**C【2点】** いとほし ↓ 気の毒だ。

※「かわいそうだ・不憫だ」等でもよい。



問六 傍線部Dとあるが、「小松の僧都」が「楽しき人」となったのはなぜか、本文全体の内容を踏まえて、解答欄の「鞍馬寺」に続くように、五〇字以内で説明せよ。 【7点】

〔傍線部〕 せん方もなく楽しき人

〔解答例〕

**A2** 「鞍馬寺」に三千日参詣した**B2** 御利益として白米をいただく夢を見て以来、**C3** 食料や

衣など何でも望み通りに手に入ったから。(50字)

〔採点方法〕 各要素単独採点。 【字数】 50字以内。

〔ポイント〕

**A** 【2点】 「鞍馬寺」に三千日参詣した

※ **C** が0点の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で0点になっている場合は得点できる。

※ 「三千日参詣した・長く参拝した」という内容があればよい。

**A** 【2点】 御利益として白米をいただく夢を見て以来、

※ **C** が0点の場合は得点できない。ただし、誤字等の減点で0点になっている場合は得点できる。

※ 「御利益を得た・仏の報いを受けた」という内容か、「米をもらう夢を見た」という内容があればよい。

**B** 【3点】 食料や衣など何でも望み通りに手に入ったから。

※ 「何でも手に入った」、もしくは「食料や衣を得た」の意があれば【3点】。

※ 「手に入った・得た」の意がなく、「何でも(望みが)叶った」の意があれば【2点】。

問七 『古本説話集』は平安時代末に成立したと考えられる説話集である。次のうち、説話集でないものはどれか、一つ選び、記号で答えよ。 【2点】

〔正解〕ニ

〔ポイント〕

【2点】 ※「ニ」以外は×。

2021年度 最終 有名大模試 「貞観政要」

四 (漢文) 採点基準 (合計250点)

問一 各2点 28点

解答

a 2もし b 2すなわち c 2ついに d 2ゆえに

採点基準

- ・送り仮名のないもの1点 例 a「も」 b「すなわ」 c「ついに」
- ・仮名遣いの誤り1点 例 b「すなはち」 c「つひに」 d「ゆゑに」
- ・送り仮名不足・仮名遣いの誤りが重複したものは0点

問二 5点

解答

為楽

採点基準

漢字以外の記号などを付したものは…注意をして2点

問三

各5点

＝10点

(難問の方は12点の問題)

解答

a 1点

b 1点

c 1点

d 1点

e 1点

B Ⅱよろしく

まごどを

つくして

きかんす

べし

f 2点

g 1点

h 2点

C Ⅱしびらくも

わするる( ) ( )

あたはず

採点基準

B 各要素1点ずつ加点してください。

b 「誠」を「せい」とよんだもの可。

d 「きかん」を読み誤ったもの0点。

C f 「しびらく」の読みが1点。「しびらくも」に2点。

g 「こと」「は不問。」「わするるを」「わするるに」「など0点。」「は」「を」「も」に直して、1点。

h 「あたはず」も可。

\*漢字が残っている場合は、各要素から1点減点。

\*文として完成していないものは0点。

問四 完答5点

解答 甲⇨ 乙⇨ホ

採点基準 記号でなく、「甲⇨易 乙⇨難」と漢字で書いたもの

…注意を与えて2点

問五 5点

a 1点 b 1点

解答例 人が 龍の喉の下にある逆鱗に触れると、

c 1点 d 2点

必ず 龍はその人を殺す

採点基準

b 「龍(竜)」「と」「龍逢」は別のもの。

d 「龍は人を殺す」も可。「その」はなくとも可。

問六 (一) 5点

解答

a 1点

b 2点

臣下らが、主君（皇帝）の逆鱗（怒り）に触れることを恐れずに

c 2点

上奏文を進呈（諫言）すること。

採点基準

\* a 「臣下」のほか「家臣」「家来」も可。

ただし「下臣」は「身分・地位の低い家来」のことなので、減点1点。

\* b 「主君（皇帝）」で1点。

\* b 「主君」のほか「君主」「君」「主」「皇帝」「太宗」も可。

\* b 「逆鱗（怒り）」に触れることを恐れずに」で1点。

\* c 「進呈（諫言・進言など）」すること」で2点。「上奏文を」の有無は問わない。

\* 「臣下」の「臣」の誤字「巨」に注意してください。

「諫言」の「諫」は「諫」も許容とします。

問六 (三) 3点

解答

太宗

問六 (三) 3点

解答

二

問七 6点

解答

口